



山形県金山町



# 林業で地方創生

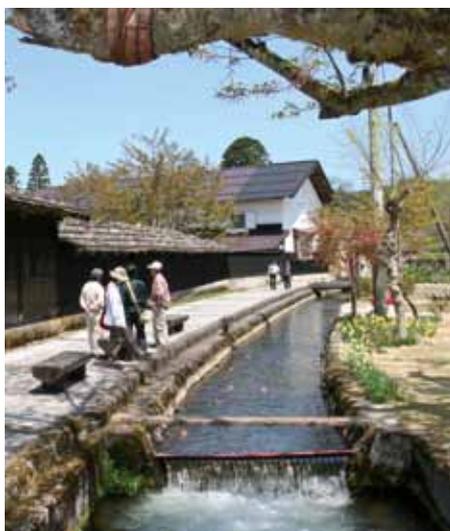
未来へとつなぐ林業の伝統と街並みづくり

樹齢300年の「大美輪の大杉」。樹高約59mで人工林としては日本最大級。  
所有者のご厚意により、林内の散策を行うことができます。

金山町は山形県の北東部に位置し、北と西は山形県真室川町、東は秋田県湯沢市、南は山形県新庄市に接しています。町の約8割を占める森林は、金山の生活と文化の根幹です。明治時代に日本を旅した英国の女性旅行家、イザベラ・バードは、滞在した金山のことを「非常に美しい風変りな盆地」、「ロマンチックな場所」と評しました。その美しい景観保持・創造や地域産業の活性化を目的とした「街並み景観条例」を制定し、「街並みづくり100年運動」に取り組んでいます。



【金山町】  
面積 16,179ha  
森林面積 12,706ha  
森林率 78.5%



かねやままち

## 金山町と

# 林業の関わり

〜次世代へと繋ぐ林業の伝統〜

金山町では古くは藩政時代から植林が行われてきました。明治から昭和にかけては大規模な植林が行われ、この「林業のまち」の伝統は現在に至るまで途切れることなく引き継がれています。

そのため、金山町の森林には「大美輪の大杉」の他にも、樹齢100年、150年を超える大



2



3



1



5



4

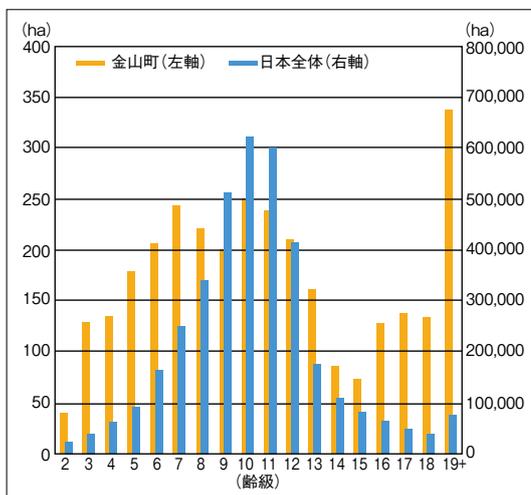
1・2 チェーンソーによる伐採作業 3 山の神に感謝する儀式 4 林業機械による搬出作業  
 5 伐採後の幹は大きいもので直径約1mを超える



### 「金山杉」の特徴

通常、杉の伐採は40年から50年のサイクルで行うことが一般的であると思いますが、金山町では樹齢80年生以上の長伐期施業を行い、高品質な木材の生産を目指すことが基本です。

金山町は冬の積雪が2m以上になることもある豪雪地帯として知られ、十分な降水量があり、これが杉の生育に適した環境です。このような環境で育った「金山杉」は、年輪が緻密に揃い、木目が非常に細やかで美しく、住宅用構造材として高い評価をいただいています。



杉人工林の齢級構成の比較

木が豊富に存在し、まさに「豊富な蓄積」があります。加えて、森林所有者のご尽力により皆伐後の再造林が積極的に行われてきたため、若齢級の森林が比較的多く、適正（法正林）に近いといえる齢級構成となっています。



# 金山町と

## 街並みづくり

100年先を見据えた

自然と調和した街づくり

### 街並み景観づくり100年運動

金山町では昭和58年度に策定された「新金山町基本構想」の中で「街並み（景観）づくり100年運動」を基幹プロジェクトとして位置付けし、推進しております。これは行政と町民が一体となり、長い期間をかけて町全体をまわりの自然（風景）と調和した、金山らしい美しい街並みをつくっていくというものであり、あわせて中心産業である林業等の地場産業の振興や人と自然が共生する豊かな暮らしの具現化を図るというものです。

### オンリーワンのまちづくり

金山町の街並みづくりの理念は、「景観とは個人の所有ではなく、公共（みんな）のものである」という「景観公有論」を前提としており、美しい景観とは、基準に基づいて統一的に整備することで全体的に周辺の風景と調和が保たれ、しかもその外観とともに、生活するうえでも快適さを感じさせなければならないということです。「金山町の風景と調和した街並み景観条例」は、行政が住民に対して規制するものではなく、景観の持ち主である町民一人ひとりが

## 金山住宅とは

白壁と切り妻屋根をもつ、在来工法で建てられた住宅です。金山で育った木材や伝統的な材料を使うことによって、気候風土にあった建物になります。また、年数が経過しても「美しく古びる」素材であり、地球にやさしい住宅です。金山住宅の家並みこそ「もうひとつ先の金山」の姿であり次代に継承する美しい共有財産です。

街並み（景観）づくり 100 年運動の実現のために、昭和 61 年 3 月に「金山町街並み景観条例」が制定され（現在は、条例制定から四半世紀が過ぎ、運動の継続と発展を目指し、金山町の豊かな自然風景への配慮を盛り込み、「金山町の風景と調和した街並み景観条例」に改制）、「街並み形成基準」とともに、街並みの基本となる「金山住宅」の基準と、金山住宅を建てた場合の独自助成制度を定め、美しい街並みを守るための取り組みを行っています。



## 「木」の街並みづくり

街並み（景観）づくり 100 年運動のみならず、金山町では地域の公共建築物等に可能な限り木材を使用しています。



1 きごころ橋（木橋） 2 最上広域市町村圏事務組合消防署金山支署  
3 交流サロンばすと（旧郵便局の再生） 4 金山町立明安小学校

主体となって、行政との連携・協働によるまちづくりを目指すべきであるという考え方に立っています。

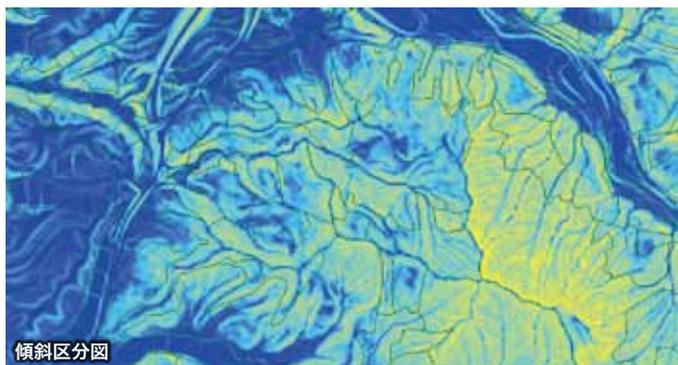
文化財の保全や観光資源づくりを直接の目的とした景観づくりとは違って、わが町の街並み景観づくりは、「金山杉」の利用拡大と「金山住宅」を普及させることにより、杉の町ならではの産業振興と文化形成、「金山住宅」を中心とした生活スタイルの創造をすることであり、住んで良かったという実感のわく町をつくることにつながるものなのです。



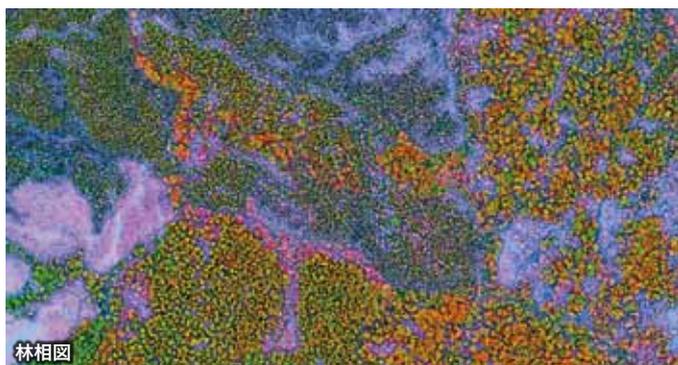
赤色立体図



航空写真



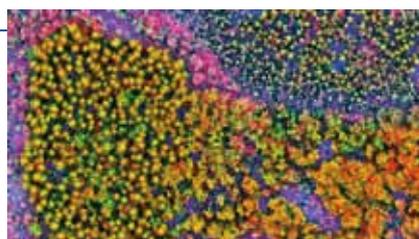
傾斜区分図



林相図

### ● 航空レーザ計測

左記の赤色立体図、傾斜区分図、林相図はいずれも上記の航空写真と同じ場所を



林相図 (拡大)

表示したものです。航空レーザ計測実施の最大の利点は、航空写真のみでは判別不可能な情報を取得できることです。

精緻な傾斜区分図や赤色立体図の情報は、作業道整備を行う際に避けるべき地形を把握できることをはじめ、効率的な路網計画等に活用が可能です。また、赤色立体図の判読により、地すべり地形や崩壊跡地等を把握することができるため、災害対策への応用も期待されることです。

林相図では、航空写真では判別することができない樹種等を判別することが可能です。上図は同じ場所を拡大したもので、単木レベルの樹種、樹高、胸高直径等の情報から資源情報をほぼ正確に把握することができます。

## 『これからの森林経営のために』 金山町 森林組合の試み

金山町森林組合の大切な役割は、所有者への経済的な還元を行うことだと考えています。しかしながら、木材価格の低迷など決して明るい話題だけではない、というのが現状です。このような時代だからこそ、森林所有者にどのような森林経営提案ができるか、そして中長期の見通しを示していく、ということがこれからの森林組合に求められることであると考えています。そのため、効率的な施業、路網整備計画の策定のための地形情報や、中長期のプランを立てるための森林資源情報を高い精度で把握することが、きわめて重要です。

金山町森林組合では、平成27年度に農林中金による「森力基金」を活用し、赤色立体図等の地理・地形情報や森林資源情報（樹種、本数、胸高直径など）等を、航空レーザ計測により、町内の民有林のうち約2分の1について整備しました。

これにより要間伐森林の特定や、間伐等を行った際の出材の予測等を行い、効率的な森林整備を行うことができます。さらに、過去に整備した路網の現在の状態や、既存の図面をはるかに超える精度で山の地形が把握できるため、効率的な路網整備計画を策定することにもつながります。

平成28年度以降には、今回整備した情報を活用した、森林所有者への中長期的な経営計画の提案をもとに、効率的な施業の実施に繋がっていきたく考えています。



## 全国育樹祭

金山町では、平成26年に第38回全国育樹祭が皇太子殿下御臨席のもと開催されました。式典行事では、平成14年の第58回全国植樹祭で天皇陛下がお手植えされたブナと、皇后陛下がお手植えされたヤマボウシの根元に皇太子殿下が肥料を施し、金山杉を使ったくわでならしてお手入れされました。



お手入れ行事

会場となった「遊学の森」は、山形県内4番目の県民の森として整備された施設で、自然観察体験や木工クラフト体験等を行うことができます。また、チェーンソーのみを使用してスギの丸太から作品を作り出す、チェーンソーアート大会をはじめ、様々なイベントが行われています。

金山町では、林業を基幹産業の一つと位置付けており、これは今も昔も、そしてこれからも金山町の普遍的な考えとして持ち続けていきます。

金山町でのこれからの取り組みとしては、

- ・森林経営が持続可能であるかについて関心が高まっていることを受け、木材の合法性を訴求するための森林認証取得に対する支援
- ・これからの金山町を担う子どもたちが、金山杉の遊具や環境教育等の木材や森林とのふれあいを通して林業の町としての文化を楽しみながら学ぶ木育の普及等があげられます。

今後とも町を挙げ林業による産業振興、教育の普及等を柱に掲げ、林業の伝統を未来へ繋ぐ事業に取り組みんでいきたいと考えています。

## 未来に繋ぐ林業へ

〜これからの金山町へ繋いでいく林業の文化〜

## 丸太をお探しの方必見！ ふるさと納税で丸太を贈呈します！！

金山町ではふるさと納税のお礼の品に、金山杉の丸太一本をご用意しております。樹齢80年以上の大径木ですので、新築時の大黒柱や、リフォームの材料、テーブル作成などへのDIYキットetcと、さまざまな用途に利用が可能です。製材については、用途に合わせて対応させていただきますので、事前にご相談ください。



※写真はイメージです。

※寸法：直径約50cm、長さ約4m  
 ※30万円以上ご寄附いただいた場合にご選択いただけます。  
 ※特殊な加工などは含まれませんので、追加オプションとなる場合がございます。  
 ※送料はご寄附者様の負担となります。  
 ※詳しくはこちらをご覧ください。 [http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item\\_detail/06361/32521](http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/item_detail/06361/32521)